

「関東食育連携プラットフォーム～この指とまれ！～」エントリーシート(関東農政局)

■ 活動紹介

団体名等	株式会社 とりせん		
事業内容	小売業(スーパーマーケット)		
所在地	〒374-8512 群馬県館林市下早川田町700番	ホームページ等	http://www.torisen.co.jp/
電話番号	0276-74-2120	F A X	0276-75-5414
担当者	小林 宏安	E - m a i l	kobavasi@torisen.co.jp
食育活動 (連携事例を含む)	<p>・ファイブ・ア・デイ協会への加盟 小学生を対象とした「食育体験ツアー」実施回数23回・参加者656名(2018年度実績) 幼児を対象とした「たべるのおはなし教室」実施回数18回・参加人数422名(2018年度実績) ・親子(顧客)を対象にした野菜・果物の産地での「収穫体験ツアー」実施回数1回・参加者40名 ・「工場見学ツアー」実施回数16回・参加者525名(2018年度実績) ・「魚さばき方教室」などの「料理教室」実施回数10回・参加者226名(2018年度実績) ・「食育講演会」など実施回数3回・参加者160名(2018年度実績)</p> <p>連携状況 ・ファイブ・ア・デイ協会、取引企業 連携内容:資料・教材提供、イベントの共催</p>		
			
活動の効果	<p>・参加者に規則正しい食生活と野菜果物摂取の大切さへの理解を深めてもらう ・フードチェーン(食べ物の生産から消費までの流れ)を説明し、食への感謝について理解を深めてもらう ・工場見学では、日本の伝統的調味料である「醤油」「味噌」の製造工程見学や製造体験を行い、伝道的な食文化について学んでもらう。座学では日本型食生活(和食)の栄養バランスの良さについて学んでもらう。 ・認知度の向上</p>		
継続への課題	<p>・活動費用、要員不足 ・参加者募集や関係先へのアプローチの手間</p>		

■ 連携を希望する取組について

連携を希望する業種等	行政・国
取組内容	<p>・予算的支援 補助金は一時的で、継続した安定的な活動を行うことが困難 食育推進に関する安定した予算(補助金)の確保</p> <p>・国との連携 未来を担う子どもたちへの食育は、国レベルの活動が必要 継続したイベント等の企画・開催を望む 活動を継続して行う団体・企業に対する特別の支援</p>